

地域づくり団体 研修交流会



平成 24 年 12 月 7 日に地域づくり団体研修交流会 in 伊勢崎が開催されました。今回は、いせさき明治館をはじめ、伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校、いせさきイルミネーションナイト 2012 の視察を行いました。

いせさき明治館

プレ視察



isesaki meijikan

いせさき明治館（黒羽根内科医院旧館）は、明治末年に建てられた県内最古の木造洋風医院建築であり、伊勢崎市を代表する建造物です。平成 14 年に伊勢崎市へ寄贈された後、現在地へ曳き家移転されました。今回は、伊勢崎市観光協会の小澤さんと金井さんにいせさき明治館と伊勢崎銘仙についてご紹介いただきました。

歴史ある建物と文化を守り伝える

いせさき明治館の大きな特徴は、板張りの外観や玄関のポーチなどの洋風のデザインを取り入れた建築であるということです。他にも、玄関上部にあるバルコニーの窓は、洋風の外観のイメージを壊さないようにドアに似せて作られていますし、室内の一部の天井には、輸入した合板が使われており、素材へのこだわりが感じられます。こういった珍しい仕様に、建築士や設計士の方も「これは面白い」と喜んで写真を撮っていきそうです。

2012 年に建築 100 周年の節目の年を迎えたいせさき明治館は、伊勢崎市の中心市街地に残る貴重な歴史資産として、また、市民のまちづくり拠点として多くの方に親しまれています。

館内では伊勢崎銘仙の企画展が開催されました。古くから養蚕が盛んであった伊勢崎市は銘仙の有名な産地であり、大正 15 年頃の大阪・名古屋近辺では、10 人に 8 人が伊勢崎銘仙を着ていたほど、全国にその名を馳せていました。現在では、ポップな色彩や柄が再注目され、その価値が見直されています。伊勢崎銘仙ファッションショーなどのイベントや銘仙市も開催されており、伝統ある伊勢崎銘仙を次世代に伝えるための取り組みが行われています。



伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校

第 1 部

yotsuba gakuen



「知性と道徳性を身につけた教養人を育成する」を教育理念に掲げる伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校（以下、四ツ葉学園）は、伊勢崎市立伊勢崎高等学校を母体とし、2009 年に全国初の市立中等教育学校として誕生しました。今回は校内見学の後、教育と街づくりの観点から、三村国宏副校長よりご講演いただきました。

生徒の将来を見据えた教育

四ツ葉学園は「中等教育学校」というタイプの中高一貫校です。中等教育学校では、中学校と高等学校の 6 年間を一体的なものとして捉えることによって、一貫した教育を受けることが出来るという特徴があります。また、中学校で高校の授業内容を先取りして学ぶことも可能なため、効率的かつ効果的な教育を受けることが出来ます。四ツ葉学園では、このような中等教育学校の特徴を活かし、生徒の将来を見据えた独自の教育が行われています。

◆ 授業風景



（写真左・中央）美術の授業では、様々な素材を組み合わせる「コラージュ」の授業が行われており、生徒同士で活発に意見交換をする場面が見られました。（右）体育館では合唱コンクールに向けた練習が行われており、上級生から下級生へ歌唱についての具体的なアドバイスが行われるなど、学年を越えた交流が図られていました。

◆ 校内風景



設備が充実したトレーニングルーム

音が下に響かないよう作られたアリーナ

廊下に掲示された生徒のレポート

校内見学後、三村副校長より四ツ葉学園の具体的な取り組みについてご講演いただきました。次のページでご紹介します。